用言の活用【動詞】～基本～　P.244～P.246　　組　　番（　　）

0 これまでの学習を振り返りましょう。

問① 次の文を文節（／）に分け、単語（○）に分けましょう。

問② 次の文の自立語に――を引きましょう。

問③ 自立語のうち、活用するものを□で囲みましょう。→□で囲んだ単語を**用言**と言います。

つまり、用言とは（自立語）で、活用（する）単語のこと！

私は、新しい服を買いに店へ走った。

☆自立語で活用する単語は3種類。その3種類である動詞・形容詞・形容動詞が用言ですね。

〈動詞はどのように活用するのか？〉

1 活用表を完成させましょう。

（例）

	語幹	ない形	ます形	。（言い切り）形	とき形	ば形	命令形
買う	か	わ a	い i	う u	う u	え e	え e
走る	はし	ら a	り i	る u	る u	れ e	れ e
歩く	ある	か a	き i	く u	く u	け e	け e
笑う	わら	わ a	い i	う u	う u	え e	え e
起きる	お	き i	き i	きる i る	きる i る	きれ i れ	きろ i ろ
食べる	た	べ e	べ e	べる e る	べる e る	べれ e れ	べろ e ろ

〈母音と子音〉
例：か（Ｋａ）
├Ｋ（母音）
└ａ（子音）

2 二枚目（下）の活用表に、自分の思いつく動詞を書き、表を完成させましょう。

3 動詞の活用の種類を教科書で確認しましょう。

①（五段）活用：「ない」を付けると直前が（ア）段の音になる。
母音が「a・i・u・u・e・e」の形で活用する。

②（上一段）活用：「ない」を付けると直前が（イ）段の音になる。
「i・i・iる・iる・iれ・iろ」（ローマ字は母音）の形で活用する。

③（下一段）活用：「ない」を付けると直前が（エ）段の音になる。
「e・e・eる・eる・eれ・eろ」（ローマ字は母音）の形で活用する。

④（カ行変格）活用：「来る」の特殊な活用。

⑤（サ行変格）活用：「する」と「○○する」など「する」が付く動詞の特殊な活用。

用言の活用【動詞】～基本～　P.244～P.246　組　番（　　）

2 活用表に、自分の思いつく動詞を書き、表を完成させましょう。

												語幹
												ない
												ます
												。
												とき
												ば
												命令

略

※あっているか気になる人は、休校明けに鷲尾まで聞きに来てください。